



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域減災論 I				
2. 教員名	福富 哲也		3. 担当大学	東北福祉大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

地震国日本では地震・津波の「減災」が国家戦略的課題となっている。本学がある宮城県・仙台市においても過去に宮城県沖地震で甚大な被害を受けている。政府発表によれば宮城県沖地震の発生確率は極めて高く、地域における地震・津波対策は喫緊の課題である。

これまで何度となく防災対策の重要性が叫ばれながら災害発生から時間が経つと、市民の防災意識が低下しがちであった。平時の地域システムとして「減災・予防」の定着を図ることこそ、災害による生命・生活・財産の被害を軽減することであり、何より重要である。いま、「自らの生命は自らが守る（自助力）、地域の安全は地域で守る（共助力）」という姿勢のもと地域での取組の構築や実践力ある人材育成が求められている。

本講義では、それぞれのフィールドで活躍する実践者等から「自助力」・「共助力」を高めるための取組についての現状と課題、今後の展望や可能性などについて多面的に学んでいく。

8. テキスト、参考書、指定図書

『防災力向上ハンドブック』、『災害時要援護者支援マニュアル』、『減災Q&T 今からできる減災』など、文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の成果物を活用します。講義のなかでその都度紹介します。

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前に受講してほしい講義等】

ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動 I

【事後に受講してほしい講義等】

地域減災論 II、災害福祉論、ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動 II・III・IV

10. 提出課題など

11. 評価基準

評価はレポート・出席等とします。

12. 学生へのメッセージ、受講生への要望

新聞、テレビ等の地域減災活動の動向に関心を持ちそれについて考えてみる。

より実践力を身につけるために「減災・予防福祉演習」・「福祉ボランティア活動 I・II・III・IV」を履修してほしい。

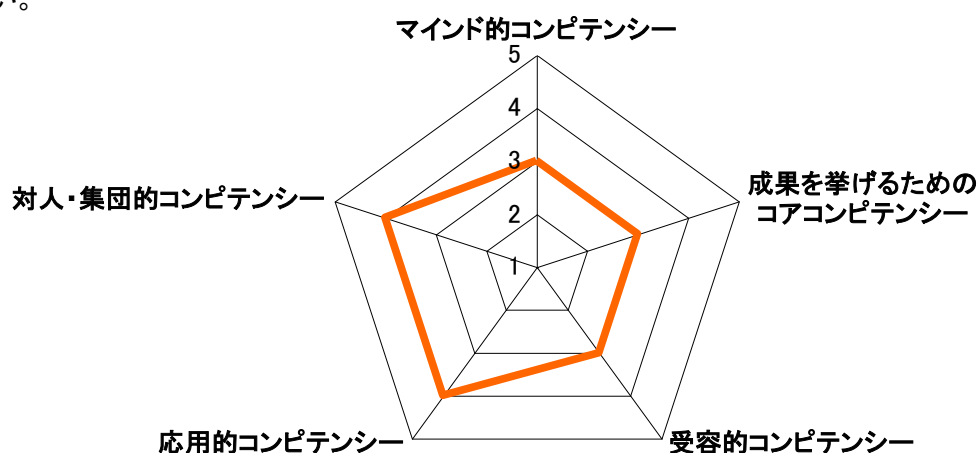
13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション	
第2回	災害（地震）のメカニズム	
第3回	家庭における備え（自助）	
第4回	地震・津波の被害と自助・共助	
第5回	消防団の活動と課題①	
第6回	消防団の活動と課題②	
第7回	消防団の活動と課題③	
第8回	地域減災活動の実践例	
第9回	学生の地域減災活動	
第10回	災害と保険	
第11回	災害と情報	
第12回	救急・救命活動～トリアージと応急手当を学ぶ～	
第13回	災害時の心のケア①～メンタルセルフケア～	
第14回	災害時の心のケア②～市民でできる心のケア～	
第15回	地域減災と社会貢献	

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント